

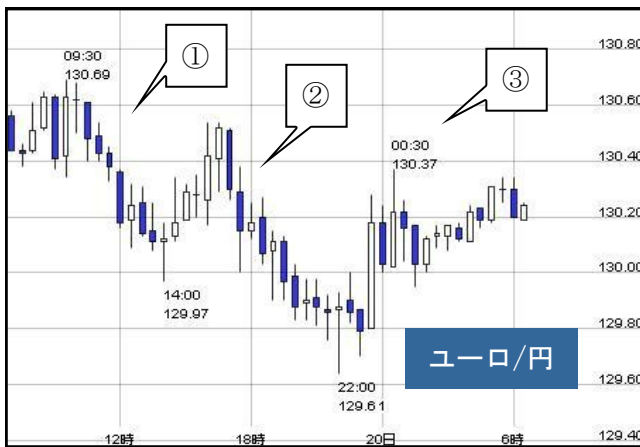
主要通貨の日々の推移をわかりやすく解説し、今後の見通しをお届けします。

1月20日(水曜日)

ユーロ/円
ユーロ/ドル
豪ドル/円

ユーロ/ポンドの方向性に注意

19日(火)の主な推移



期間：19日(火)午前7時～20日(水)午前7時

※チャートは30分足 日本時間にて表示

出所：外為どっとコム

①

日本航空の会社更生法適用申請に伴い、これまでの円売り・ドル買いの為替予約が取り消されるとの観測や、日経平均株価の下落を背景にドル/円で円高が進むと、クロス円(ユーロ/円、豪ドル/円など)でも円高が進行した。ただし、鳩山首相が「デフレに打ち勝つため、日銀と一体になって経済を運営する」との発言をきっかけに円売り優勢の展開に転じた。

②

18時30分に発表された英12月消費者物価指数は前月比+0.6%と市場予想(+0.3%)を上回った。これを受けてユーロ/ポンドでポンド高・ユーロ安が急速に進むと、ユーロは円やドルに対しても下落した。19時に発表されたドイツとユーロ圏の1月ZEW景況感調査がそれぞれ47.2及び46.4と、双方ともに市場予想を下回ると、この流れに拍車が掛かり、ユーロ/ドルは日本時間20日未明に約1カ月ぶり安値となる1.4251ドルまで下落した。また、ギリシャの財政懸念の蒸し返しなどもユーロ売り材料視された。

③

米国の上院議員補選において民主党が苦戦していることから、医療保険改革の進捗が滞る可能性が浮上し、医療保険株を中心に米国株が上昇。これを受けてクロス円も上昇した。

ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・主要新興国(BRICs)を中心にドル離れに動くとの観測(ユーロ上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円の買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)

豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円の買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

本日の見通し

本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.4180-1.4440ドル
ユーロ/円 : 128.80-132.00円

本日の予想レンジ

豪ドル/円: 83.00-85.00円

本日はユーロ圏の独自材料としては独12月生産者物価指数があるが、どちらかといえばイングランド銀行(BOE)の議事録や米12月生産者物価指数など、海外の経済指標に注目があつまる。

足元では英国の経済が急回復するのでは、という観測が高まっており、19日についてはユーロ/ポンドでポンド高・ユーロ安が進んだ結果、ユーロは円やドルに対しても下落した。本日のBOE議事録、あるいは英雇用統計(議事録と同時刻に発表)で景気急回復観測が引き続き高まり、ますますポンドがユーロに対して上昇すれば、相対的にユーロが売られ、ユーロ/円やユーロ/ドルでのユーロ安が進むとみられる。

本日の豪州は独自材料に乏しく、他のクロス円に連れた動きや、株価の方向性を確かめながらの取引となろう。ただし、明日21日11時に豪州の1番の貿易相手国である中国の経済指標発表を控えている。今回は2009年第4四半期の国内総生産(GDP)の発表もあり、比較的注目度は高めだ。この発表を前に、本日は多少手控えムードが広がる可能性もある。

豪ドル/円チャートを見ると、今週は20日移動平均線(本日時点: 83.54円)にサポートされている。この線近辺では豪ドル買い圧力も強そうだ。

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
1/20(水)	18:30	○	(英) BOE議事録	—	—
	21:00	○	(米) バンク・オブ・アメリカ第4四半期決算	—	—
	22:00	○	(米) モルガン・スタンレー第4四半期決算	—	—
	22:30	○	(米) 12月生産者物価指数 [前月比]	+1.8%	± 0.0%
	22:30	○	(米) 12月生産者物価指数 [コア:前月比]	+0.5%	+0.1%
	22:30	○	(米) 12月住宅着工件数 [年率換算]	57.4万件	57.2万件

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。